＜親権者変更調停を申し立てる方へ＞

１　概要

離婚の際に未成年の子がいる場合には，父母の合意で親権者を定めることができますが，離婚後親権者を変更しようとするときは，必ず家庭裁判所の調停又は審判によらなければなりません。

親権者の変更は，子の健全な成長を助けるためのものですから，両親の円満な話合いで解決することが望ましく，まず調停での話合いを行うのが原則です（親権者が死亡，あるいは行方不明である等調停に出席できない場合その他特に事情のあるときには，調停を経ずに親権者変更の審判を申し立てることができます。）。

調停手続では，申立人（あなた）が親権者の変更を希望する事情や相手方の意向，今までの養育状況，双方の家庭状況，子の意向等について事情をお聴きしたり，必要に応じて資料を提出していただくなどして，子の福祉にかなうよう話合いを進めます。

なお，話合いがまとまらず調停が不成立になった場合には，自動的に審判手続が開始され，裁判官が一切の事情を考慮して審判をすることになります。

２　申立てに必要な費用

□　収入印紙・・対象となる子（未成年者）１人につき1200 円

□連絡用の郵便切手・・合計 1,100 円分

（内訳　140 円×1枚，84円×10枚，10円×10枚，1円×20枚）

３　申立てに必要な書類

□　申立書３通

→申立書は，法律の定めにより相手方に送付しますので，裁判所用，相手方用，申立人用の控えの３通を作成してください。なお，裁判所の窓口に３枚複写式の申立書用紙がありますので，ご利用ください。

○ 申立書には，相手方に開示できない住所を記載しないでください。

□　事情説明書１通

□　連絡先等の届出書１通

□　進行に関する照会回答書１通

□　申立人，相手方及び子（未成年者）の戸籍謄本(全部事項証明書)各１通

→戸籍謄本等は３か月以内に発行されたものを提出してください。

４　調停手続で必要な書類等の提出方法等

・　調停では，必要に応じて，自分の主張を裏付ける資料等を提出していただくことがあります。調停委員会の指示に従って提出してください。

・　書類等を提出する場合には，裁判所用のコピー１通を提出するとともに，調停期日には申立人用の控えを持参してください。

・　相手方に交付したい書類等を提出するときは，裁判所用及び相手方用としてコピー２通を提出するとともに，調停期日には申立人用の控えを持参してください。

・　書類等の中に相手方に知られたくない情報がある場合で，家庭裁判所が見る必要がないと思われる部分（住所秘匿の場合の源泉徴収票上の住所等）は，マスキング（黒塗り）をしてください。（裁判所用及び相手方用のコピー２通全て同様に作成してください。）

（R1.10 千葉家）

・　マスキングができない書面については，「非開示の希望に関する申出書」に必要事項を記載し，その申出書の下に当該書面をステープラー（ホチキスなど）でとめて，一体として提出してください。この申出書を参考に，裁判官が，相手方の閲覧・謄写（コピー）申請を認めるかどうか判断します。

５　提出された書類等の閲覧・謄写（コピー）

申立人の提出した申立書については，法律の定めにより相手方に送付されます。それ以外に調停手続中に一方の当事者が提出した書類等については，他方の当事者は，閲覧・謄写の申請をすることができます。この申請に対しては，裁判官が，円滑な話合いを妨げないか等の事情を考慮して，許可するかどうか判断します。

しかし，調停が不成立で終了し審判手続が開始された場合には，調停手続中に提出された書類等のうち，親権者を変更するかどうかの判断に必要なものは，法律の定める除外事由に当たらない限り，閲覧・謄写の申請をすれば必ず許可されることになります。

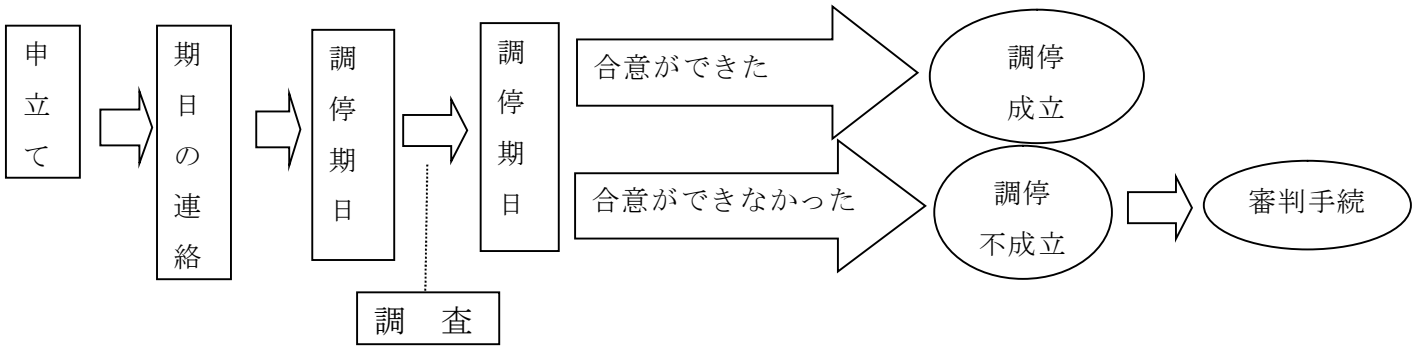
６　申立先

相手方の住所地を管轄する家庭裁判所となります（ただし，相手方との間で，担当する家庭裁判所について合意ができており，申立書と共に管轄合意書を提出していただいたときには，その家庭裁判所でも対応することができます。）。

７　調停の進め方について

調停の流れは下図のとおりです。調停は平日に行われ，１回の時間はおおむね２時間程度(進行によっては更に長くかかる場合もあります。)です。申立人待合室，相手方待合室でそれぞれお待ちいただいた上で，交互又は同時に調停室に入っていただきます。調停委員が中立の立場で，双方のお話をお聞きしながら話合いを進めていきます。

なお，必要に応じて，家庭裁判所調査官が，調停期日に立ち会ったり，調停期日の間に未成年の子の監護に関する問題等について調査を行う場合もあります。



（R1.10 千葉家）

この申立書の写しは，法律の定めるところにより，申立ての内容を知らせるため，相手方に送付されます。

受付印

☑ 調停
家事　　申立書　〔 親権者の変更 〕
☐ 審判

（この欄に未成年者１人につき収入印紙１，２００円分を貼ってください。）

印紙

（貼った印紙に押印しないでください。）

円

円

この申立書を提出する裁判所名

この申立書を作成した日

千葉 家庭裁判所 御中 令和 ○ ○ 年 ○ 月 ○ ○ 日	申立人（又は法定代理人など）の記名押印	乙川　春子　㊞

添付書類	（審理のために必要な場合は，追加書類の提出をお願いすることがあります。） ☑ 申立人の戸籍謄本（全部事項証明書）　☑ 相手方の戸籍謄本（全部事項証明書） ☐ 未成年者の戸籍謄本（全部事項証明書）　☐

相手方に知らせてもよい住所を記載し，併せて「連絡先等の届出書」を提出してください。
連絡先を相手方に秘匿したい場合には，同届出書に「非開示の希望に関する申出書」を付けて提出してください。

申立人	本籍（国籍）	○○ 都道府県 ○○ 市 ○○ 町 ○ 番地	
	住所	〒 ○○○ － ○○○○ 千葉市 ○○ 区 ×××　○丁目○番○号 ハイツ○○ （ ○○○ 方）	
	フリガナ 氏名	オツカワ　ハルコ 乙川　春子	昭和 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 （ ○○ 歳）
相手	本籍（国籍）	○○ 都道府県 ○○ 市 ○○ 町 ○ 番地	
	住所	〒 ○○○ － ○○○○ 千葉市 ○○ 区 ×××　○丁目○番○号　○○アパート ○○ 号 （ 方）	
	フリガナ 氏名	コウノ　タロウ 甲野　太郎	昭和 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 （ ○○ 歳）

親権者の変更を求めたい未成年の子について記入してください。

未成年者	未成年者(ら)の本籍（国籍）	☑ 申立人と同じ　☐ 相手方と同じ ☐ その他（ ）	
	住所	☑ 申立人と同居　／　☐ 相手方と同居 ☐ その他（ ）	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日生
	フリガナ 氏名	コウノ　イチロウ 甲野　一郎	令和 （ ○○ 歳）
	住所	☐ 申立人と同居　／　☐ 相手方と同居 ☐ その他（ ）	平成 年　月　日生
	フリガナ 氏名		令和 （ 歳）
	住所	☐ 申立人と同居　／　☐ 相手方と同居 ☐ その他（ ）	平成 年　月　日生
	フリガナ 氏名		令和 （ 歳）
	住所	☐ 申立人と同居　／　☐ 相手方と同居 ☐ その他（ ）	平成 年　月　日生
	フリガナ 氏名		令和 （ 歳）

（注）太枠の中だけ記入してください。☐の部分は，該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは，法律の定めるところにより，申立ての内容を知らせるため，相手方に送付されます。

※　申立ての趣旨は，当てはまる番号を〇で囲んでください。
　□の部分は，該当するものにチェックしてください。

申　立　て　の　趣　旨

※

1　未成年者の親権者を，（ ☑相手方 ／ □申立人 ）から（ ☑申立人 ／ □相手方 ）
　に変更するとの （ ☑調停 ／ □審判 ） を求めます。

（親権者死亡の場合）

2　未成年者の親権者を，　（ □亡父 ／ □亡母 ）

（氏名……
本籍……）

　から　申立人　に変更するとの　審判　を求めます。

申　立　て　の　理　由

現在の親権者の指定について

☑　離婚に伴い指定した。
□　親権者の変更又は指定を行った。

その年月日　平成・令和〇〇年〇〇月〇〇日
（裁判所での手続の場合）
（……家庭裁判所……（□支部／□出張所）
平成・令和……年（家……）第……号）

親権者指定後の未成年者の監護養育状況

☑　平成・令和〇〇年〇〇月〇〇日から平成・令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
　□申立人　／　☑相手方　／　□その他（……）　のもとで養育
□　平成・令和　　年　　月　　日から平成・令和　　年　　月　　日まで
　□申立人　／　□相手方　／　□その他（……）　のもとで養育
☑　平成・令和〇〇年〇〇月〇〇日から現在まで
　☑申立人　／　□相手方　／　□その他（……）　のもとで養育

親権者の変更についての協議状況

□　協議ができている。
☑　協議を行ったが，まとまらなかった。
□　協議は行っていない。

親権者の変更を必要とする理由

☑　現在，（☑申立人／□相手方）が同居・養育しており，変更しないと不便である。
□　今後，（□申立人／□相手方）が同居・養育する予定である。
□　（□相手方／□未成年者）が親権者を変更することを望んでいる。
□　親権者である相手方が行方不明である。（平成・令和……年……月頃から）
□　親権者が死亡した。（平成・令和……年……月……日死亡）
□　相手方を親権者としておくことが未成年者の福祉上好ましくない。
□　その他（……）

この申立書の写しは，法律の定めるところにより，申立ての内容を知らせるため，相手方に送付されます。

受付印	
収入印紙　　円	
予納郵便切手　　円	

家事	□ 調停 □ 審判	申立書 〔 親権者の変更 〕

（この欄に未成年者１人につき収入印紙１，２００円分を貼ってください。）

千葉家庭裁判所 御中 令和　　年　　月　　日	申立人 （又は法定代理人など） の記名押印	印

添付書類	（審理のために必要な場合は，追加書類の提出をお願いすることがあります。） □ 申立人の戸籍謄本（全部事項証明書）　□ 相手方の戸籍謄本（全部事項証明書） □ 未成年者の戸籍謄本（全部事項証明書）　□

準口頭

申立人	本籍（国籍）	都道府県	
	住所	〒　　－ （　　方）	
	フリガナ 氏名		昭和・平成　年　月　日生 （　　歳）
相手方	本籍（国籍）	都道府県	
	住所	〒　　－ （　　方）	
	フリガナ 氏名		昭和・平成　年　月　日生 （　　歳）
未成年者	未成年者(ら)の本籍（国籍）	□ 申立人と同じ　□ 相手方と同じ □ その他（　　）	
	住所	□ 申立人と同居　／　□ 相手方と同居 □ その他（　　）	平成・令和　年　月　日生
	フリガナ 氏名		（　　歳）
	住所	□ 申立人と同居　／　□ 相手方と同居 □ その他（　　）	平成・令和　年　月　日生
	フリガナ 氏名		（　　歳）
	住所	□ 申立人と同居　／　□ 相手方と同居 □ その他（　　）	平成・令和　年　月　日生
	フリガナ 氏名		（　　歳）
	住所	□ 申立人と同居　／　□ 相手方と同居 □ その他（　　）	平成・令和　年　月　日生
	フリガナ 氏名		（　　歳）

（注）太枠の中だけ記入してください。□の部分は，該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは，法律の定めるところにより，申立ての内容を知らせるため，相手方に送付されます。

※　申立ての趣旨は，当てはまる番号を○で囲んでください。
　□の部分は，該当するものにチェックしてください。

申　立　て　の　趣　旨
※ 1　未成年者の親権者を，(　□相手方　／　□申立人　)から(　□申立人　／　□相手方　)に変更するとの　(　□調停　／　□審判　)　を求めます。 （親権者死亡の場合） 2　未成年者の親権者を，　(　□亡父　／　□亡母　) （氏名…… 本籍……） から　申立人　に変更するとの　審判　を求めます。

申　立　て　の　理　由
現在の親権者の指定について
□　離婚に伴い指定した。 □　親権者の変更又は指定を行った。 その年月日　平成・令和……年……月……日 （裁判所での手続の場合） （……家庭裁判所……（□支部／□出張所） 平成・令和……年（家……）第……号）
親権者指定後の未成年者の監護養育状況
□　平成・令和　　年　　月　　日から平成・令和　　年　　月　　日まで □申立人　／　□相手方　／　□その他（……）　のもとで養育 □　平成・令和　　年　　月　　日から平成・令和　　年　　月　　日まで □申立人　／　□相手方　／　□その他（……）　のもとで養育 □　平成・令和　　年　　月　　日から現在まで □申立人　／　□相手方　／　□その他（……）　のもとで養育
親権者の変更についての協議状況
□　協議ができている。 □　協議を行ったが，まとまらなかった。 □　協議は行っていない。
親権者の変更を必要とする理由
□　現在，（□申立人／□相手方）が同居・養育しており，変更しないと不便である。 □　今後，（□申立人／□相手方）が同居・養育する予定である。 □　（□相手方／□未成年者）が親権者を変更することを望んでいる。 □　親権者である相手方が行方不明である。（平成・令和……年……月頃から） □　親権者が死亡した。（平成・令和……年……月……日死亡） □　相手方を親権者としておくことが未成年者の福祉上好ましくない。 □　その他（……）

令和　　年（家　　）第　　号

事情説明書（親権者変更）

この書類は，申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックを付け(複数可)，必要事項を記入の上，申立書とともに提出してください。

なお，この書類は，相手方には送付しませんが，相手方から申請があれば，閲覧やコピーが 許可されることがあります。

令和　　年　　月　　日　　申立人 ＿＿＿＿＿＿＿＿

1 今回あなたがこの申立てをした「きっかけ」「動機」を書いてください。	
2 調停ではどんなことで対立すると思われますか。（該当するものにチェックしてください。複数可。）	□ 特になし □ 親権者を変更することそれ自体 □ 未成年者との面会交流　　□ 未成年者にかかる費用の負担 □ その他（　　）
3 申立人と相手方の現在の連絡状況について記入してください。	□ 会っている。 □ 会ってはいないが，電話等で連絡をとっている。 □ 連絡をとっていない。 （最後に連絡をとった時期：平成・令和　　年　　月ころ） （連絡をとっていない理由：　　）
4 未成年者に，親権者を変更することについて話をしていますか。	□ 話をしている。 話をした人　□ 申立人　□ 相手方　□ 申立人及び相手方一緒に □ その他（　　） 未成年者の反応（　　） □ 話をしていない。
5 現在未成年者の状況で心配なことはありますか。（該当するものにチェックしてください。複数可。）	□ 特にない。 □ ある。 □ 健康面（病気が増えた，体重の増減が大きい等） □ 情緒面，精神面（情緒不安定等） □ 登園，登校面（登校を渋っている等） □ 交友関係（友人とのトラブル等） □ その他（　　）
6 別居後の申立人と未成年者の交流について，記入してください。	

7 それぞれの同居している家族について記入してください（本人を除く。）。

※申立人と相手方が同居中の場合は申立人欄に記入してください。

申立人（あなた）				相　手　方			
氏　名	年齢	続柄	職業等	氏　名	年齢	続柄	職業等

8 収入状況について記入してください。	月収（手取り）　約　　万円 □ 実家等の援助あり　□ 生活保護等受給	月収（手取り）　約　　万円 □ 実家等の援助あり　□ 生活保護等受給

（R1.6 千葉家）

令和＿＿＿年（家　）第＿＿＿＿＿＿号（期日通知等に書かれた事件番号を書いてください。）

連 絡 先 等 の 届 出 書

令和＿＿年＿＿月＿＿日

☐ 申立人　☐ 相手方　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

１　送付場所

標記の事件について，書類は次の場所に送付してください。

☐　申立書記載の住所

☐　次の場所です。

〒　　－　　　（部屋番号や〇〇様方等も正確に記入してください。）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

場所と本人との関係：☐住所　☐就業場所（勤務先）

☐その他　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　電話番号（平日の昼間に連絡がつく電話番号）

携帯電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

固定電話番号（☐自宅／☐勤務先）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐　どちらに連絡があってもよい。

☐　できる限り，☐携帯電話／☐固定電話への連絡を希望する。

＊　１，２について非開示を希望する場合には，**「非開示の希望に関する申出書」を作成して，その申出書の下にこの書面をステープラー（ホチキスなど）などでとめて，一体として提出してください。**

＊　連絡先等について非開示を希望する場合には，開示により当事者や第三者の私生活・業務の平穏を害するおそれがあると理解して，原則として開示しない取扱いになっておりますので，その他の理由がなければ，「非開示の希望に関する申出書」の第２項（非開示希望の理由）に記載する必要はありません。

令和　　年（家　　）第　　号

進行に関する照会回答書（申立人用）

【 この書面は反対当事者等には開示されません。 】

この書面は，調停・審判を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(複数可)，空欄には具体的な事情等を記入して，申立ての際に提出してください。

令和　　年　　月　　日　　申立人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	□　ある(**そのときの相手方の様子にチェックしてください。**) □ 感情的で話し合えなかった。　□ 冷静であったが，話し合いはまとまらなかった。 □ 態度がはっきりしなかった。　□ その他（　　） □　ない(**その理由をチェックしてください。**) □ 全く話合いに応じないから。　□ 話し合っても無駄だと思ったから。 □ その他（　　）
2　相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	□　応じると思う。 □　応じないと思う。 □　分からない。 （理由等があれば，記載してください。）
3　調停・審判は円滑に進められると思いますか。	□　進められると思う。 □　進められないと思う。 □　分からない。 （理由等があれば，記載してください。）
4　この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	□　伝えた。 □　伝えていない。 □　すぐ知らせる。　□ 自分からは知らせるつもりはない。　□　自分からは知らせにくい。
5　当事者双方の勤務先があれば書いてください。	申立人　勤務先の名称： 相手方　勤務先の名称：
6　相手方の暴力等がある場合には，記入してください。	1　相手方の暴力等はどのような内容ですか。 □大声で怒鳴る・暴言をはく。　□物を投げる。　□殴る・蹴る。　□凶器を持ち出す。 (1) それはいつ頃のことですか。 ＿＿＿＿＿＿頃　から　＿＿＿＿＿＿頃　まで (2) 頻度はどのくらいですか。 ＿＿＿＿＿＿回 2　相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 □ない　□ある（ケガや症状等の程度　　） 3　配偶者暴力に関する保護命令について，該当するものをチェックしてください。 □申し立てる予定はない。　□申し立てる予定である。 □申し立てたが，まだ結論は出ていない。　□申し立てたが，認められなかった。 □認められた。　※保護命令書の写しを提出してください。 4　相手方の調停時の対応について □裁判所で暴力をふるうおそれはない。 □申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 □裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるうおそれがある。 □裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 □裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 □裁判所へ薬物，アルコール類を飲んでくるおそれがある。
7　調停・審判期日の差支え日等があれば書いてください。 ※　調停・審判は平日の午前または午後に行われます。	申立人の　□ 希望日　曜日　午前・午後　□ 差支え日　曜日　午前・午後 曜日　午前・午後　曜日　午前・午後 （すでに差し支えることが分かっている日→　　） 相手方の　□ 希望日　曜日　午前・午後　□ 差支え日　曜日　午前・午後 曜日　午前・午後　曜日　午前・午後 （※分からなければ記載しなくてもかまいません。）
8　当事者双方の立会いのもとで，裁判所から調停手続に関する説明をすることにつき，支障があれば，具体的な事情を記入してください。	
9　８のほか，裁判所に配慮を求めることがあれば，その内容を書いてください。	